

# 分科会のテーマ

分科会 No.	テーマ	担当教員(所属等)
1 国語教育	読みの交流 新時代	松本 修(教育学研究科 教職専攻 教職大学院 教授)
2 道徳教育	道徳の教科化は教員養成に何を求めるか? —学校における道徳教育の充実を目指して—	山口 圭介(教育学研究科 教職専攻 教職大学院 教授・ 教育学部教育学科 教授)
3 理科	生徒の興味と関心を引き出す理科実験の実践的指導法	有泉 高史(農学部生物資源学科 教授)
4 数学	これからのプログラミング教育のあり方	豊田 昌史(工学部マネジメントサイエンス学科 教授)
5 体育	子どもの体力低下問題を解決する学校体育の取り組み	川崎 登志喜(教育学部教育学科 教授)
6 幼児教育	幼児期の『考える』を考える	宮崎 豊(教育学部乳幼児発達学科 教授)
7 美術	美術教育における鑑賞と表現 —子供の感性を引き出す言語活動を取り入れた焼きもの制作の事例紹介—	椿 敏幸(芸術学部芸術教育学科 准教授)
8 国語	グローバル社会における国語教育	中田 幸司(リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科 教授)

※分科会は本学の担当教員に加えて、教育委員会や教育現場の先生方をお招きし、レクチャー・話題提供等を頂きながら進行する内容もあります。詳細はHPをご確認ください。

# 講演者・シンポジスト プロフィール

## 藤原 誠

文部科学省初等中等教育局長。東京都出身、東京大学法学部卒業。昭和57年文部省入省。生涯学習政策局青少年教育課長、大臣官房会計課長、大臣官房審議官(初等中等教育局担当)、高等教育局私学部長を歴任し、平成27年8月大臣官房官房長を経て、平成28年6月より現職に至る。



## 高口 努

独立行政法人教員研修センター理事。文部省教育助成局教職員課課長補佐、岐阜県教育委員会参事、文部科学省初等中等教育局学力調査室長、生涯学習政策局男女共同参画学習課長、初等中等教育局教職員課長、国立教育政策研究所教育課程研究センター長を歴任、平成27年5月から現職。



## 天笠 茂

千葉大学特任教授。専門は、学校経営学、カリキュラムマネジメント論。中央教育審議会初等中等教育分科会臨時委員。主な著書に『カリキュラムを基盤にした学校経営』(ぎょうせい)、『学校と専門家が協働する—カリキュラム開発の臨床的アプローチ』(第一法規)など。



## 佐藤 光次郎

初等中等教育局教職員課長。平成5年文部省入省。高等教育局高等教育企画課課長補佐、専門教育課専門職大学院室長/教育養成企画室長、初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室長、大臣秘書官(事務取扱)を歴任し、平成28年6月より現職。



## 森山 賢一

玉川大学教師教育リサーチセンター長。専門は教育方法・内容学、教師教育学。特に教育の理論と実践との結合を目指すことによって、教育実践に関する研究水準の向上に取り組む。中央教育審議会専門委員、著書に「教育課程編成論」(学文社)、「ICTを活用した新しい学校教育」(北樹出版)など。



## 若月 秀夫

一般財団法人学校教育研究所理事長。公立小学校校長を務め、品川区教育委員会教育長に就任し、「教育改革プラン21」を推進。この間、内閣府の教育再生懇談会委員、中央教育審議会各種委員などを歴任。現在、政策研究大学院大学客員教授。



## ACCESS

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩5分

「玉川学園前」駅改札を出て左側(北口)の階段を降りて、本学正門よりご入場ください。

## 申し込み方法

下記必要事項を記入し、10月21日(金)までにFAX、e-mail、または本学ホームページよりお申し込みください。

FAX:042-739-8857

e-mail:t-kenshu@tamagawa.ac.jp

## 教師教育フォーラム申込書(FAX用) ◆下記にご記入のうえ送信してください。

所属・氏名	フリガナ		連絡先	電話番号
				e-mail
講演・シンポジウム (いずれかに○)	参加・不参加	職種	教員*(幼・小・中・高・大)・公務員・学生・その他( )	
			*該当の職種・学校種に○をしてください。その他は()内にご記入ください。	
分科会 (いずれかに○)	参加*(分科会 No. 1・2・3・4・5・6・7・8)・不参加			
	*参加の場合は分科会 No. に○をしてください。			